広報
いずみざき

昭和61年／1986年
10月15日（特集号）
編集・泉崎村役場総務課
印刷・タ サ キ 印刷所

村づくり五原則

1、皆んなで手をつなぎ生きがいと幸せをつくろう。
1、きれいな環境と健康なからだをつくり快適な生活をめざそう。。
1、知性と教養を高め文化の営みをさかんにしよう。
1、働く喜びを味わい豊かな生産を上げよう。
1、皆んなで心を合わせ平和で明るい郷土をつくろう。

共に生活することにより
お互いがよくわかる。

相互理解、相互信頼により
深い共感と連帯の念が芽生える。

心と心の触れ合いにより
お互いが信頼し合える。

明るい未来を築くため
友情の絆を大切にしよう。

▲泉崎中の３年生、先生、西町インターナショナルスクールのみなさん。

国際化をめざして

村長　海上博之

二十一世紀を前に、我が国は政治、経済、文化等あらゆる面で国際化が迫られていますが、今回本村として初めて中学生同士が国際交流を行ったことに大きな喜びを感じています。

次代を担う若い人達がこのような体験を通し、仲良くなることは今日の社会では大変重要なことです。今後さらに西町インターナショナルスクールの方々との交流が深められることを切望してやみません。

国際理解に努力を

教育長　木野内　重三郎

日本人は、四面海に囲まれていること、同一民族、同一言語、同一文化の中で育ってきたことが、国際理解の上で障害となっていると言われております。

中学生時代に他国の同世代の人達と、直に接する機会を持ったことは、このようなバリアー除去のため貴重な体験であったと思います。わずか二日間の交流とも思えない互いの微笑が、心に深く刻まれ、インターナショナルマインドの芽が育つものと信じます。

思いやりの心

校長　佐藤雄喜

今回の交歓会の実現は、ＮＩＳの校長の御理解と村当局並びに関係各位の物心両面にわたるご支援のおかげでありまして心から感謝申し上げます。二日間にわたって四ヵ国の中学生と直接交流を図るわけですが、どうか「思いやりの心」をもつて楽しく積極的に交流を図り、お互いの友情を深められ、本校とＮＩＳとの交流の輪が益々広められることを希望いたします。そして人間性豊かな生徒になっていただきたく期待いたします。

広めよう視野を！グローバルに

広がれ友情の輪

大きな成果

西町インターナショナルスクールと泉崎中学校の生徒の交歓会は、短い時間ではあったが、みのりの多いものがあったと、関係者一同喜んでいます。

歓迎会で、「地球をもっと住みやすいところにするためにお互いに仲良くしましょう」と日本語であいさつした西町のオードリィさんの言葉に象徴されるようにこの二日間で、感じやすい時期である中学生には、早くも友情が芽ばえ、世界中の人々と仲良くなることの必要性を感じ取りました。

世界中みんな仲良くこの友情を永遠に！

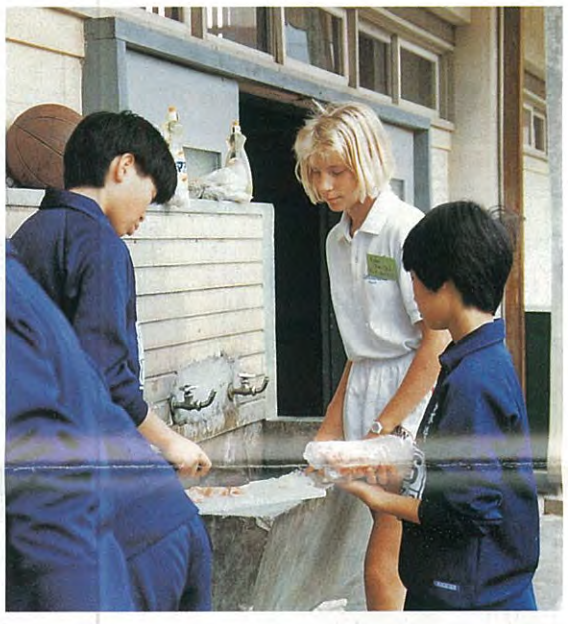
◀また会いましょう。

▲たった二日間の交流だったが、心の絆はしっかり結ばれ、送る方も送られる方もなごり惜し気に固い握手をかわした。

分宿したＮＩＳの方々は、それぞれの家で、思い

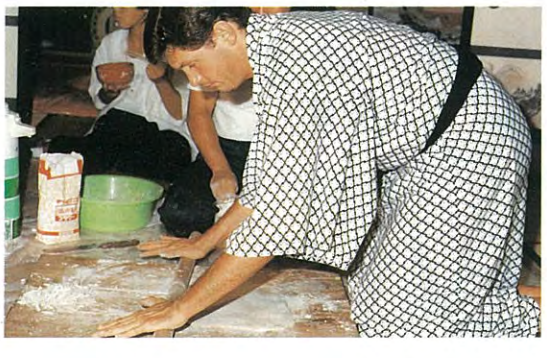
、生涯忘れることのできない良い思い出の一ペー

▶友好の熱気あふれた綱引き、なわとび、背走リレーも楽しかった。



▶協力しあって野菜を刻む。

▶みんなそろってつきたてのモチを食べる。



◀そばをうつジレンスキー先生

▶第二グランドでのいも煮会

さわやかな交流

はじめこそかたくるしさが見られたものの、適応力の高い中学生同志が、使う言葉はたどたどしくても、話し合っている姿に違和感は全然見られない。「人類は皆兄弟」、「人間は、人種、国境を超えてみな同じなんだ」とつくづく考えさせられた二日間でした。

▲西町インターナショナルスクールの生徒を待つ泉崎中生。

▲新幹線から降りてくるNISのみなさん　みんな笑顔が美しい。

▲スクールバスで泉崎入り。役場に寄って村長より歓迎のあいさつを受ける。

▶新白河駅前で記念撮影　初めて会う友達に緊張のうちにも笑みがこぼれる。

語り合う若い世代　深まる友情と信頼

▲昼食をとりながら歓談　だいぶ固さもとれはじめる。

▲歓迎会ではみんなでいっしょに「Let there Be Peacs on Earth」を歌う。

—ホームスティー

9月18日㈭は仲秋の名月、月が姿を見せたのはほんのわずかだったが、各家庭に分思いに泉崎での秋の一夜をすごした。

さわやかな笑顔、明るい声、積極的な行動は泉崎の生徒、保護者に好印象を与え、ジとなって残った。

◀今夜は十五夜、月見だんごを作って楽しむ。

元気のでる街・泉崎

人　口　5,992人（昭和61年10月1日現在）
面　積　35.20㎢
特産品　ハト麦・ハト麦茶・グリーンアスパラ・トマト・きゅうり・ブロッコリー・エビネ・葉たばこ・蓄産
役場所在地　西白河郡泉崎村大字泉崎字新宿2
電　話　☎0248(53)2111(代)

未来先取りします。

泉崎村長　海上博之

わが村「泉崎」はいま未来先取りに大忙がしです。

自然の中に工場が調和よく配置され、整然とした田畑、村なかほどには遊歩道とスカイラインがめぐらされた烏峠があります。

泉崎村を俯瞰すると、整備された交通ネット、東北本線、東北自動車道路、国道四号線など明日への飛躍の動脈が走り、西部に広がる雲海に似た山なみの中には、自然を最大限取り入れたゴルフ場「ラフォーレ白河中銀GC」これを中心とするコンベンションランド建設も六十二年からGO！一大リゾートランドが完成します。二万人を容する大競技場、後楽園がすっぽり入る球技場もできあがり、プールやテニスコートを配するスポーツランドも完成……。

人を呼び、仕事をつくり、文化の歓びを築くために力をだしています。高いレベルの知的な村民がいま未来づくりに汗を流しています、泉崎に未来が始まっています。元気のでる街泉崎、歌声と笑顔が満ちる泉崎、村に住むみんなが愛している村、それが泉崎です。

■未来型企業誘致にも努力しています。

現在17の誘致企業があり、主たる業種としては、電気機械器具製造業・一般機械製造業です。今後は公園型モデル工業団地に先端産業を誘致する予定です。

▲思いっきりスポーツしよう!!
体育館・野球場‥テニスコート・プール……

—さつき公園(カントリーパーク)—

▲本当の住みよさがここにある
＝新白河東・泉崎ニュータウン＝
(397区割)

▲本格的ゴルフコース(18ホール)
すばらしい景観(プラス)＋温泉(プラス)＋研修レジャー施設
＝ラフォーレ白河中銀(なかぎん)ゴルフコース＝

いずみざきの名産品

■健康に一番　ハト麦茶
古来から健康茶として親しまれてきたハト麦茶は、粒状袋入り、ティーパック、缶入りと各種とりそろえ、全国的に売り出し好評を博しています。

■太くておいしい　グリーンアスパラ
栄養価が高く見た目も美しいグリーンアスパラはわが村のヒット産物、太くておいしいアスパラづくりに頑張っています。

■毎日食べられる甘熟トマト
「桃太郎」
栽培技術の向上により、ほぼ年間を通してトマトを供給できるようになりました。
〝毎日の食卓にトマトを食べよう〟を目指しました。

いずみざきの話題

■「休肝日」マスコミに紹介される
昭和五十九年十月から毎月十日と二十九日を「休肝日」に設定しこの日はアルコール類を一切飲まない日としています。これは近年特に極だった死亡率の増加をみせている肝臓疾患を予防し、又、月に二回は自分の健康に注意を向けようとするものです。
一年たった今ではすっかり定着し健康で明るい村づくりは着実な歩みをみせており、テレビ、ラジオ、新聞等で全国的に報道され熱い注目をあつめています。

▲烏峠稲荷神社(村指定重要文化財)
泉崎村の最高峰(標高485.7m)の烏峠にあり由緒正しく、願望成就の神として有名です。
烏峠(おくの細道自然道)
歴史のなかをハイキング。360度の眺望が楽しめます。

歴史探訪

■関和久遺跡(国指定史跡)
はるかなる古代に夢とロマンが満ちあふれ、おおらかな生活が営なまれたであろう関和久遺跡は、七～八世紀ごろの白河地方の郡役所跡です。東西約二六〇m南北四二〇mにわたる大遺跡であり、倉庫院、官衛等貴重な遺構が発掘され昭和五十九年には国史跡に指定されました。

■原山古墳
四～五世紀頃、白河地方の首長の墓であろうと推定される原山古墳はわが村原山(国道四号線沿)にあります。発掘調査の結果前方後円墳であることが判明し、七〇点に及ぶ人物、動物等の大変貴重な円筒埴輪が見つかりました。その一部は会津の県立博物館特設コーナーで広く紹介されることになっています。
夢を呼ぶ古代文化の遺跡

いずみざきむらのイラストマップ

いずみざき
四季おりおり
二月・初馬祭
七月・天王様祭
九月・八朔大祭
十月・村民体育祭

▲踏瀬旧国道松並木
(村指定天然記念物)
江戸時代の夢が生きているなつかしい松並木

▲泉崎横穴(国指定史跡)
七世紀をのぞいてみませんか？……

◀観音山磨崖供養塔婆群(県指定史跡)
いにしえ人の祈りに胸うたれます。……